

## フジイコーポなど

### ものづくり日本大賞 10名が優秀賞を受賞

経産省、国交省、厚労省、文科省は、第4回「ものづくり日本大賞」について、19件(76名・文科省分除く)の内閣総理大臣賞を決定。この中で経産省関係で優秀賞として

新潟県のフジイコーポレーションなどが受賞した。

「ものづくり日本大賞」

は、製造、生産現場の中心を担っている中堅人材など「ものづくり」に携

わっている各世代の人材から、特に優秀と認められる人材を顕彰するものである。

今回、フジイコーポレーションの優秀賞は、製造・生産プロセス部門で案件名は「若手社員が業界の非常識に挑戦し実現した革新的な溶接ロボット」というもの。これは、溶接治具の簡易化と溶接ロボットのフレキシブルマニファクチャリングシ

ステムにより効率的な一台流しの混流生産を実現。この方式により、同時に除雪機や草刈機、高所作業機など数種類の商品を一台湾しの混流ができる。

受賞したのは、大島泰男(チームリーダー)、宮嶋弘志、平田千博、小林忠幸、永塚健、樋口政雄、金子正司、渡辺賢介、高橋喜靖の10氏。同社では、「今回の受

賞を機に、さらに研さんを重ねていきたい」としている。

このほか、今回、優秀賞を受賞したのは、北海道の本田農機工業で「懸垂機構を用い軟質ゴム羽根で損傷の少ない枝豆の収穫を可能にした自動枝豆脱莢機」。

受賞者は、本田正一(社長)、本田孝一、増本三樹男、織田正喜の四氏。なお、3月20日から国立科学博物館(東京台東区)で、今回の経産省受賞案件を紹介する「ものづくり展」を開催する予定。